

Data(2013年2月現在)

所在地：〒895-0011 鹿児島県薩摩川内市天辰町  
2365 番地

スタッフ：徳永龍子(教授)、園田和子(講師)、前  
田則子(講師)

URL [www.k-junshin.ac.jp/jundai/](http://www.k-junshin.ac.jp/jundai/)



# 鹿児島純心女子大学

## 看護栄養学部看護学科公衆衛生看護学分野

### History & Now

#### どのような機関なのでしょう？

本学の建学の精神は、「聖母マリアのように神様にも人にも喜ばれる女性の育成」です。社会貢献できる学園をめざし、幼稚園、保育園、中学、高校、短大、大学、大学院があります。また、地域行事への参加協力、出張講義、公開講座などを行っています。大学は1994(平成6)年4月に開学し、異国情緒あふれるキャンパスで約650人が学んでいます。看護学科は定員45名です。2012(平成24)年度から保健師も成績による選択制とし、助産師、看護教諭、養護教諭一種が選択制です。

### Education

#### どのような教育をしていますか？

本学は、「いのちを育む知性と愛」が教育目的です。保健師教育では、講義、演習、実習、活用展開と発展します。ALS、結核、母子の訪問場面や健康教育を「教員がしてみせて、意味づけし、学生にさせてみる」演習を多く取り入れています。特徴は、離島・僻地などの地域の特殊性を活かした保健活動や、教授が過去に施策化したお達者クラブなどの住民組織・地区組織の育成について講義した後、実習で体験学習しています。依存症の自主グループとの交流会では、学生は人のつながりの大切さや対象を疾患でなく生活者としてとらえる視点に気づき、心を動かされます。こうしたことが学びの醍醐味となっています。

### Research

#### どのような研究活動を行っていますか？

学内研究は、学生のイメージ化と理解をキーワードに学習過程を評価し、科目修正に活かします。主なものは、「看護学生の自我同一性の形成過程の变革」、健康を形式知でみた「演習を重視した健康論から得たイメージ、学習意欲、関心度の獲得」、2回の家庭訪問、健康教育の演習の有用性をみた「保健所・市町村実習における実習前演習による実習イメージ化と自信獲得」があります。教員は、介護保険、介護予防、地域包括ケア、自主グループ支援、地域母子保健などの研究活動に取り組んでいます。

### Collaboration

#### 保健活動の現場とのつながりは？

実習では、教員が毎日同行し、現場の保健師とともに学生の思考過程と公衆衛生看護実践過程を支えています。また、行政・産業・福祉分野から地域ネットワークへの参画や研修講師の依頼があり、協働しています。2000(平成12)～2007(平成19)年度は、大学のある公民会の協力を得て、地区踏査をしたり、公民会長宅で地域の歴史や活動を聴いたり、地域マップ作成後に大学にお招きしての報告会を開催し、地区組織活動について学んだりしました。今後は、学生が実習で得たデータ・事例の展開結果をもとに地域の保健現場とのネットワークを深めていきます。

### ひとこと

公衆衛生看護は、人々の生活と人生を支援するため、生活者の環境を整える視点が大切です。学生は、人間が人として生まれ、生活者として自律して生き、死ぬという生業のなかで、人々が抱く気持ちに寄り添い、誇りを尊重し、自己決定という覚悟を支援する困難さを学びます。それをとおして社会貢献できる自立した女性に成長していきます。

……徳永

あなたの研究室を紹介してください！ 保健師ジャーナルでは、このページに登場してくださる研究室(保健師教育に関わる講座・分野・領域)を募集中です。研究室での保健師教育の特色や、研究活動、現場とのつながりを紹介してください。

応募について ●まず電話、FAX、E-mailにて編集室までご連絡ください。掲載分には医学書院特製図書カードを進呈いたします。

連絡先 ●医学書院「保健師ジャーナル」編集室 ☎ 03-3817-5774 FAX 03-5804-0485 ✉ [hokenshi@igaku-shoin.co.jp](mailto:hokenshi@igaku-shoin.co.jp)